

コレクション＋ 行為と痕跡

2016 年 7 月 22 日(金) — 9 月 25 日(日)



【1】



【2】

【1】 小林達也 《歌に促され、少し声を出してみる》 2007 年

パネルに寒冷紗、パテ、カゼインテンペラ、コラージュ、色鉛筆、クレヨン

194×131cm 作家蔵

【2】 高山陽介 《無題 (Tuesday)》 2015 年

樟、アクリル塗料、硬貨、埃、新聞紙、ウレタン塗料、ソファー、布、荷締めベルト、合板 171×182×237 cm 作家蔵 撮影：加藤健 (Photo by Ken Kato)

courtesy of HASHIMOTO ART OFFICE



概要

収蔵作品とともに地域ゆかりの作家を紹介する「コレクション+」シリーズ。今回は、絵画、彫刻という表現の創作過程の「行為」と「痕跡」に着目して二人の作家を紹介します。

小林達也は何もない画面からかたちを見出し抽象絵画を生み出します。高山陽介は日常生活のなかから、浮かび上がるイメージを生成させて彫刻にし、その彫った木くずも作品として残し、彫るという行為の跡を作品に焼きつけます。これらの絵画と彫刻は、加える行為と削る行為という真逆の作業によって成り立ちます。イメージの源泉も正反対の彼らの創作＝行為によって表れ、重ねられた絵具と残された木くずは、美術家が持つ内なる衝動の痕跡といえるでしょう。

内側から突き動かされる制作行為は作家を作品へと没入させ、純度を高めた感性が現れます。かつて前橋の画家・田中恒は、「その人の赤裸々な真実が現れたとき、そこに芸術がある」と言いました。本展では地域ゆかりの現役作家とともに、田中恒をはじめとするアーツ前橋所蔵作品から、感性に制作行為を委ねた画家たちの絵画を展覧します。

開催概要

【展覧会名】「コレクション+ 行為と痕跡」

【会 期】7月22日（金）～9月25日（日） 57日間

【開館時間】11:00～19:00（入場は18:30まで）

【休 館 日】水曜日

【会 場】アーツ前橋 ギャラリー1

【観 覧 料】無料

【主 催】アーツ前橋

【出品作家】小林達也、高山陽介

【収蔵作品】塩原友子、田中恒、中村節也

関連イベント

①小林達也「感覚を頼りに描いてみる」コラージュ制作ワークショップ

日時：8月11日（木・祝）14:00～16:00

対象：小学生以上（定員15人）

会場：アーツ前橋 スタジオ

参加費：無料

申込方法：事前申込制—お電話にてお申し込みください。

内容：具体的な像を追いかけて、真っ白な画面から形を探して、コラージュして抽象画を描くワークショップ。真っ白な画面から何が見つかるでしょう？

②小林達也 オープンスタジオ

日時：8月14日（日）、18日（木）、19日（金）、21日（日）、25日（木）、26日（金）
13:00～18:00

会場：豎町スタジオ（前橋市千代田町2-4-1）

料金：入場無料〔申込不要〕

内容：アーツ前橋の滞在スペース「豎町スタジオ」にて、小林達也の公開制作を行います。作家の制作方法を見たり、知り合える機会です。

③高山陽介 木版画ワークショップ

日時：8月13日（土）14:00～16:00

対象：小学生以上（定員10人）

会場：アーツ前橋 スタジオ

参加費：無料

申込方法：事前申込制—お電話にてお申し込みください。

内容：高山陽介による木版画制作ワークショップ。高山は彫刻作品と合わせて自身をモチーフとした木版画の作品を発表しています。このワークショップでは木版画制作を通して、彫ることの楽しさに触れて頂きます。

④学芸員によるギャラリートour

日時：8月6日（土）、9月17日（土）14:00～14:50

集合場所：アーツ前橋 1F 受付

参加費：無料〔申込不要〕

※両日とも14:50から「表現の森 協働としてのアート」展のギャラリートourを開催

⑤こどもアート探検

日時：8月20日（土）14:00～15:00

対象：小学生以上

集合場所：アーツ前橋 1F 受付

参加費：無料〔申込不要〕

内容：鑑賞サポーターと一緒に作品を見て、話しながら鑑賞します。

同時開催

展覧会名：表現の森 協働としてのアート

会期：2016年7月22日（金）～9月25日（日）

会場：アーツ前橋（群馬県前橋市千代田町 5-1-16）

観覧料：一般 500 円／学生・65 歳以上・団体（10 名以上）300 円／高校生以下無料

本展の見どころ

- ・ アーツ前橋では初出品となる地域ゆかりの現役作家を紹介します。
- ・ 前橋市がこれまで収蔵していた作品で、塩原友子、中村節也、アーツ前橋では初公開となる田中恒の作品を出品します。

作家紹介

小林達也(1973-)

神奈川県生まれ。群馬県桐生市在住。1998 年筑波大学大学院芸術研究科美術専攻修了。2001 年個展「マイナスドライブ」（ギャラリー・グラフィカ bis、東京）、「群馬青年ビエンナーレ'01」（群馬県立近代美術館、群馬）、2006 年「第 24 回上野の森美術館大賞展」（上野の森美術館、東京）、2007 年「VOCA 展 2007 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」（上野の森美術館、東京）、2008 年「トーキョーワンダーウォール 2008」（東京都現代美術館、東京）、2012 年「館林ジャンクション—中央関東の現代美術—」（群馬県立館林美術館、群馬）、2014 年個展「echo」（PENSEE GALLERY、群馬）ほか 2013 年、2015 年「中之条ビエンナーレ」に出品（群馬）



【3】

小林達也 《泣く喜び》 2013 年パネルに寒冷紗、パテ、コラージュ、カゼインテンペラ、アクリル、クレヨン 249.5×182cm 作家蔵

高山陽介(1980-)

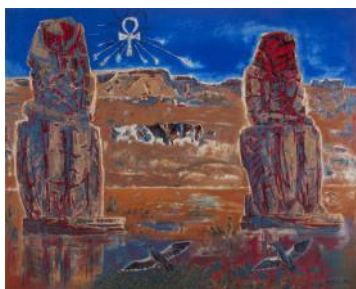
群馬県生まれ。2007 年多摩美術大学大学院美術研究科修了。2003 年個展「ひと部屋の出来事」(ART LABOLATORY R3/群馬)、2007 年「アジア青年作家プロジェクト」(ヘイリー芸術村/韓国)、2010 年「群馬青年ビエンナーレ 2010」(群馬県立近代美術館/群馬)、2008 年個展(ギャラリー・ハシモト/東京/'09,'11,'12,'13,'14 開催) 2013 年「UNDER 35」(BANKArt Studio NYK/神奈川)、2015 年「なんでふもののつくべきぞ」(アートラボはしもと/神奈川)、2015 年「アキバタマビ 21 特別企画展『捨象考』」(アキバタマビ 21/東京)、2016 年「囚われ脱獄 囚われ脱獄」(駒込倉庫/東京)



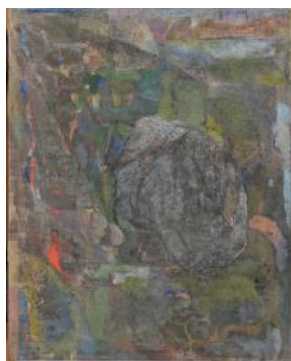
【4】

高山陽介 《無題 (犬とレリーフ1)》 2012-13 年 樟、アクリル塗料、新聞紙、合板、ウレタン塗料、テーブル、箱馬、アルミ角パイプクランプ 186×90×84.5cm 作家蔵 撮影：大丸剛史 (Photo by Koji Omaru) courtesy of HASHIMOTO ART OFFICE

収蔵作品



【5】



【6】



【7】

【5】中村節也《メムノンの巨像》1983年 カンバス、油彩 182×227.5cm アーツ前橋蔵

【6】塩原友子《森の中》1998年 パネル、和紙、岩絵具 162.2×130.4cm アーツ前橋蔵

【7】田中恒《農夫の歌Ⅱ》1974年 カンバス、油彩 162×130.6cm アーツ前橋蔵

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ先

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：山田（広報担当）、吉田（学芸担当）

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016 <http://www.artsmaebashi.jp>

E-MAIL：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●電車

JR 前橋駅北口から徒歩約10分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

●自動車

関越自動車道 前橋ICから車で約15分



※地図内Pマークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。

アーツ前橋企画展「コレクション＋ 行為と痕跡」 広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○をつけてください。画像（JPEG）をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供致します。個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット等
【1】	小林達也 《歌に促され、少し声を出してみる》2007 年 パネルに寒冷紗、パテ、カゼインテンペラ、コラージュ、色鉛筆、クレヨン 194×131cm 作家蔵
【2】	高山陽介 《無題（Tuesday）》2015 年 樟、アクリル塗料、硬貨、埃、新聞紙、ウレタン塗料、ソファー、布、荷締めベルト、合板 171×182×237 cm 作家蔵 撮影：加藤健（Photo by Ken Kato） courtesy of HASHIMOTO ART OFFICE
【3】	小林達也 《泣く喜び》 2013 年 パネルに寒冷紗、パテ、コラージュ、カゼインテンペラ、アクリル、クレヨン 249.5×182cm 作家蔵
【4】	高山陽介 《無題（犬とレリーフ1）》2012-13 年 樟、アクリル塗料、新聞紙、合板、ウレタン塗料、テーブル、箱馬、アルミ角パイプクランプ 186×90×84.5cm 作家蔵 撮影：大丸剛史（Photo by Koji Omaru） courtesy of HASHIMOTO ART OFFICE
【5】	中村節也《メムノンの巨像》1983 年 キャンバス、油彩 182×227.5cm アーツ前橋蔵
【6】	塩原友子《森の中》1998 年 パネル、和紙、岩絵具 162.2×130.4cm アーツ前橋蔵
【7】	田中恒《農夫の歌Ⅱ》1974 年 キャンバス、油彩 162×130.6cm アーツ前橋蔵

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	